**平成30年度日本薬学会東海支部 学術奨励賞 候補者推薦募集要項**

平成30年度日本薬学会東海支部 学術奨励賞 受賞候補者の推薦を下記の要領で募集します。

1．資格

(1) 推薦者は日本薬学会東海支部会員であること（自薦も可#）。

(2) 被推薦者は、平成30年4月1日現在で3年間以上継続して日本薬学会の会員であること##。また、大学においては原則40歳未満\*（平成30年4月1日現在）の若手研究者とする。ただし、大学以外の機関（研究所、会社、病院など）においてはこの限りでない。

2．対象とする業績

薬学またはその応用に関して優れた研究を実施中のもので、その研究業績の一部または全部を、平成28年度の東海支部大会、日本病院薬剤師会東海ブロックとの合同学術大会2016、あるいは平成29年度の東海支部大会において発表（候補者が演者）していること。なお、大学においては学位取得後いかに研究を発展させたかを重視\*\*する。

3．推薦方法

下記応募書類を配達が確認できる手段（書留便あるいはゆうパックなど）でお送りください###。

(1) 支部所定の推薦書

(2) 本人よる｢研究の発展性・将来性について｣の記述書（A4用紙、縦置、横書、字数制限なし。研究内容により、汎用性や応用性の記述も可能）

(3) 研究業績ならびに推薦研究業績に関する主たる公表論文（学会誌、学術雑誌の原著論文）の別刷およびその参考となる資料（印刷中の論文を含む）、各1 部

(4) 上記（3）における論文のうち、主たる論文 5 報以内については、別刷を16部（コピー可。一式ずつ揃えて16セットにまとめる）

(5) 支部大会または合同学術大会で発表した推薦研究の講演要旨のコピー16部（複数ある場合は一式ずつ揃える）

応募に関する注意事項

* 推薦書用紙は日本薬学会東海支部ホームページからダウンロードしてください。
* 応募書類の送付、照会は下記連絡先にお願いします。
* 所属機関に当支部役員のいる会員は、支部役員を通じて応募してください。

4．審査希望部門

推薦研究について次の審査部門（第1～第4）のうちいずれか1部門を指定すること。ただし、推薦研究の内容によっては2部門以上を指定してもよい。各部門における審査範囲は次のとおり。

第1部門: 主として化学的手法に重点をおいたもの［化学系］

（有機化学、無機化学、生薬・天然物化学、医薬品化学、その他）

第2部門: 主として物理的手法に重点をおいたもの［物理系］

（物理化学、分析化学、アイソトープ・放射線化学、その他）

第3部門: 主として生物学的手法に重点をおいたもの［生物系］

（薬理学、生物化学、微生物学、生理学、衛生化学、その他）

第4部門: 主として医療系分野に関するもの［医療系］

（薬剤学・製剤学、病院薬学・医療薬学、医薬品の研究開発、技術改良、薬史学、その他）

5．締切:　平成29年10月2日（月曜日）必着

6．受賞件数:　4件程度（賞状、賞牌）

7．受賞者の決定:　平成30年1月

8．授賞式:　平成30年度日本薬学会東海支部 総会

9．受賞講演:　平成30年度日本薬学会東海支部大会

連絡先

〒501-1196　岐阜県岐阜市大学西1-25-4 岐阜薬科大学内

日本薬学会東海支部庶務幹事　寺町ひとみ

tokai\_hiteramachi@gifu-pu.ac.jp 電話：052-230-8107、FAX：052-230-8107

平成29年度より適応済みの改正点の注釈

\*「原則」を加える。

「原則」とは、「実務系教員などで、研究期間が短い場合は、年齢に配慮する」という趣旨で用いている。

\*\*「審査する」を「重視する」に変更。

「重視する」は、上記と同様に、実務系教員等に配慮するという趣旨で用いている。

（以上、平成27年度第3回日本薬学会東海支部役員会議事録より）

平成30年度よりの改正点案

１．推薦書と本人による｢研究の発展性・将来性について｣の記述書を区別して記載。

２．公表論文は「投稿中」ではなく「印刷中」に改訂

３．主たる論文 5 報以内については、別刷各9 部を16部（コピー可。一式ずつ揃えて16セットに

まとめる）に変更。

４．支部大会または合同学術大会で発表した推薦研究の講演要旨のコピー10部も16部（複数ある場合

は一式ずつ揃える）に変更。

５．書類一式の郵便による請求は廃止。

（上記３，４の変更点の理由：一次審査委員6名と選考委員10名、全員に主論文、講演要旨を予め

送付するため）

平成29年度第1回役員会により決定

１．【1.資格（1）】「自薦も可#」を記載する。(検討した結果、前回通りする)

２．【1.資格（2）】において、「3年間以上継続して本支部の会員であること」を「3年間以上継続して日本薬学会の会員であること##」に訂正する。

３．【3.推薦方法】において、「下記応募書類を書留便でお送りください。」を「下記応募書類を配達が確認できる手段（書留便あるいはゆうパックなど）でお送りください###。」に訂正する。

平成30年度 日本薬学会東海支部 学術奨励賞 候補者推薦書

|  |  |
| --- | --- |
| 受付番号 |  |
| 受付  年月日 |  |

日本薬学会東海支部支部長　殿

推薦者氏名　　　　　　　　　　　　印

現職、所属

同所在地

会員番号

下記の通り推薦します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 推薦研究題目 | |  | | | |
| 審査希望部門\* | | 第1部門　　　第2部門　　　第3部門　　　第4部門 | | | |
| 受 賞 候 補 者 | （ふりがな）  氏　名 |  | | 昭和　　年　　月　　日生 | |
| ・現職、所属  ・所属所在地  ・電話番号  ・ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ | ・  ・〒  ・  ・ | | | |
| 会員番号 | | | 日本薬学会東海支部に所属した年月 | | |
| 学位 | | | 取得年月日 | | 取得大学 |
| 学位論文題名 | | | | | |

\* 該当するものに○印を付すこと。業績の内容に応じて2つ以上の部門を希望することができるが、その場合は重点を置く部門に◎印を付すこと。

第1部門: 主として化学的手法に重点をおいたもの［化学系］

（有機化学、無機化学、生薬・天然物化学、医薬品化学、その他）

第2部門: 主として物理的手法に重点をおいたもの［物理系］

（物理化学、分析化学、アイソトープ・放射線化学、その他）

第3部門: 主として生物学的手法に重点をおいたもの［生物系］

（薬理学、生物化学、微生物学、生理学、衛生化学、その他）

第4部門: 主として医療系分野に関するもの［医療系］

（薬剤学・製剤学、病院薬学・医療薬学、医薬品の研究開発、技術改良、薬史学、その他）

(奨励賞－1)

|  |
| --- |
| 研究（推薦研究題目）の概要および推薦理由  **【注意事項】（この部分は消去して、当該事項を記入してください）**  **・研究概要は、引用文献表記のように、研究業績（推薦研究題目に関する研究成果）一覧の番号を記入するなど、概要本文と「推薦研究題目に関する研究成果（研究業績リスト）」との照合が容易にできるよう記入してください。** |
| 講演した支部大会名、合同学術大会名と開催年月日、開催地、および演題と発表者名\*\*  **【注意事項】（この部分は消去して、当該事項を記入してください）**  **・過去の発表履歴は、最近のものから順に番号を付し、発表時期を遡及して記入してください。**  **・記入事項は、推薦研究題目に関する研究の発表（１）と推薦研究題目以外の研究に関する発表（２）に分けてください。** |

\*\* 発表件数が多い場合は別紙を添付してもよい。

(奨励賞－2)

|  |
| --- |
| 学歴、職歴、受賞など  **【注意事項】（この部分は消去して、当該事項を記入してください）**  **・履歴は、履歴の内容ごとに分け、古いものから現在までの順で記入してください。** |
| 推薦研究題目に関する研究成果の公表雑誌名、巻号頁、題名、および著者名。なお、当該研究以外の研究が学術雑誌に公表されている場合にはそれらも参考論文として列記してください。\*\*\*  **【注意事項】（この部分は消去して、当該事項を記入してください）**  **・推薦研究題目に関する研究成果は、最近のものから順に番号を付し、公表時期を遡及して記入してください。（必要に応じて、特許等も記入可能）**  **・提出資料とする「推薦研究題目に関する主たる論文（5報以内）」については、必ず ○ 印を付し、各資料と照合できるようにしてください。**  **・大学の候補者においては、（A）学位取得以降の推薦研究題目に関する研究成果、（B）参考論文：学位取得以前の推薦研究題目に関する研究成果、（C）参考論文：推薦研究題目以外の研究に関する成果、に分けて記入してください。**  **・大学以外の機関（研究所、会社、病院など）の候補者においては、（１）推薦研究題目に関する研究成果、（２）参考論文：推薦研究題目以外の研究に関する成果、に分けて記入してください。** |

\*\*\* 発表件数が多い場合は別紙を添付してもよい。

(奨励賞－3)